

第3部 市民活動支援センターの運営

I 事業方針

第1 現状と課題

社会の変化に取り残されてしまう人を多く生む状況の中、追い打ちをかけるように起きてしまった「大震災」。しかし、それを契機に自らの考えで行動し、人と人がつながり、手を取って助け合う市民の動きもありました。

経済の不振、高齢化や地域コミュニティの衰退などから生じる多様化した社会課題を市民の力で支えあい、解決するために、その動きを地域の助けあいや地域力を高めることにつなげていくことが、市民活動支援センターに求められています。

第2 基本方針

市民活動支援センター利用に関するニーズ調査の結果を基に、引き続き事業やサービスについて見直しを図り、市民活動を担う人材発掘・人づくりに力を入れ、地域を豊かにするさまざまな活動が生まれ横につながっていくコーディネーション、プログラム開発に取り組みます。

検討し構築した相談記録システムを利用し、センターとコーナーブランチのデータ共有や記録の蓄積から、効率的で円滑なコーディネートができるようすすめます。

東京都社会福祉協議会の平成23年度住民活動支援モデル事業に指定された西部コーナーの機能の充実に取り組み、地域の団体と連携することで、地域福祉コーディネーターとしての役割を確立します。

また、平成23年度内から取り組んできた東日本大震災被災地復興支援の取り組みとしては、中間支援組織として市民、団体、企業と協働して、継続的に行います。

社会の動向や市民ニーズの変化に応じて、中長期的視点を持ち運営にあたります。

第3 重点項目

1 他機関との連携、協働の推進、ネットワークの促進

ランチ機能を活用しながら、地域課題の共有や協働による課題解決への取り組みを進めていきます。また、地縁組織とテーマ別NPOとの連携づくり、災害などテーマ別ネットワークの促進をすすめ、支えあい、協働する関係づくりを目指した機会を創出します。

2 相談記録分析による課題発掘と市民活動の創出

新しく構築した相談対応の記録・共有システムを生かす仕組みづくりとして、相談記録分析会議を行い、成果測定に資する記録の精度を高めます。また、事例検討を行うことでスタッフのスキルアップを目指し、相談事業とコーディネーションの充実に努めます。

3 地域福祉コーディネーターの役割の確立

第4次調布市地域福祉活動計画の具現化に向けて、地域福祉推進課との連携を図り、地区協議会、マンション管理組合・自治会などの地縁組織、高齢者施設・包括支援センター・障害者施設・教育施設、地域で活動している企業などへのアウトリーチを心がけ、講座・イベントを企画し、地域の課題を地域の力で解決するべく、地域福祉コーディネーターの役割を確立します。

4 継続的な復興支援の取り組み

被災地へのボランティア派遣や避難者の生活サポートなどの活動を、市民、団体、企業と協働して継続的にすすめていきます。

また、東京での大規模災害に備え防災意識を高める講座を行うなど、災害に強く市民力の高い地域づくりを目指します。

5 中長期的視点に立脚したセンター運営の推進

市民活動支援に関するアンケート調査結果や中長期視点に基づくセンター運営の見直し検討内容などを踏まえ、人材発掘や情報収集・情報発信、センターをより知ってもらう取り組みなどを取り入れながら、スタッフの人材育成に力を入れていきます。

II 事業計画

市民活動を支援し、市民主体のすみよいまちづくりをすすめていくための事業計画です。

番号	事業名	財源（17,252千円）			
		自主	補助	委託	事業
1	市民活動支援センターの受託・運営			市協	

番号	事業名	財源（27,616千円）			
		自主	補助	委託	事業
2	市民活動支援センター brunch の運営	寄会歳基	市総		○

目標と方針

- 市民主体の視点を大切に事業運営、サービス提供をすすめます。

実施内容等

- 市民活動支援センター運営委員会による運営
市民主体の開かれた運営を基本とし、運営委員会、常任委員会を定期的開催します。
- 市民活動支援センター利用者との意見交換の実施
お客様の意見を反映したセンター運営を目指し、利用者会議（えんがわミーティング）を定期的開催します。また気軽に伺えるようご意見箱を設置し、掲示板にて利用者同士やスタッフと交流をします。
- 各種連絡会、利用者会議等の開催
地域の人たちの意見や提案を反映した事業推進を目的として brunch ごとに連絡会、世話人会、利用者会議等の協議体を設置し、開催します。
- サポーター会員制度の維持と拡大
えんがわファンドの原資となるサポーター会費の拡大につとめます。
- 市民活動団体交流事業の実施
調布市市民プラザあくろす「はばたき」を中心に、市民活動団体、市民活動に関心のある市民の交流事業「えんがわフェスタ」を実施します。
- brunch 市民活動交流事業の実施
各 brunch を拠点に活動する市民活動団体同士、あるいは brunch の近隣住民など地域コミュニティをつなぐ機会として交流事業を実施します。
例）菊野台ボランティアまつり、富士見ふれあいのつどい、染地ボランティアまつり、緑ヶ丘・仙川ふれ愛のつどいなど
- 地域福祉コーディネーターとしての役割の確立と brunch 機能の発展（重点項目）
brunch コーディネーターが広義の福祉を小地域単位で推進していく地域福祉コーディネーターとしての役割を果たせるよう、週5日開所の西部コーナーでのモデル事業を受け、役割を検討しながら小地域における市民活動支援の窓口として、また地域を耕し、人と人をつなぐネットワークの拠点として機能を充実させていきます。

番号	事業名	財源（一千円）上記1, 2に含む			
		自主	補助	委託	事業
3	市民活動（ボランティア・NPO）団体、個人の活動促進	寄会歳基	福総	市協	○

目標と方針

- 地域の課題解決にむけて主体的にとりくむ個人や団体の活動を促進するための各種サービスを提供します。また活動の裾野を広げるため、地域課題の発見や啓発活動を行います。

実施内容等

- 市民活動に関する相談事業の実施と地域課題発掘力の強化（重点項目）
市民活動に関することをはじめさまざまな相談に対応します。センターおよびランチ間で相談記録や情報の共有化を図るためのシステムを導入し、コーディネーションの充実を図ります。
- コーディネーション機能の強化
社会資源や地域の課題を把握し、ニーズを的確に捉えた上で市民活動に参加したい個人・団体と支援をもとめている個人・団体のコーディネーションをすすめます。
- 新たなニーズに対応する市民活動立ち上げ支援
潜在化している地域の課題を発掘し、対応する活動を市民が主体的に立ち上げることができるよう支援を行います。
- 市民活動団体の立ち上げ、NPO 法人設立、組織運営に関する講座、相談会の実施
NPO 法人設立に関する講座や会計・税務などの相談会などを実施します。
また、NPO 法改正や新寄附税制などの制度改正に対応した内容の講座を実施します。
- 施設・団体等ボランティア受け入れ側の支援
施設や団体などのボランティア受け入れ担当者を対象としたリスクマネジメント講座やボランティアコーディネーション講座などを実施します。また、施設・団体等でおこなう研修会などへ講師、アドバイザーを派遣し、施設独自にボランティアを募集する仕組みづくりに協力します。
- えんがわファンドによる助成金提供
自発的に公益活動を展開する市民活動団体の運営支援を目的として、えんがわファンドを活用し、活動資金の提供を行います。
また、スタッフが助成団体の活動を見学し、運営に関してのアドバイスをを行います。
- 電話代行サービスの提供
市民活動団体の主催事業の申し込み受付や、問合せなどをそれぞれの団体にかわってセンタースタッフが対応します。（月単位 有料）
- ボランティア保険・行事保険の加入受付
安心して市民活動を行えるよう保険加入を促進し、受付手続きを行います。
また、利用しやすく現実的な保険になるよう事業者に提言していきます。
- はばたきスペースの管理運営（国領）

利用者が気持ちよく使えるようサービスの質を向上するようつとめます。

また、市民活動に関わっていない若者世代にも新たな気付きが芽生えるような取り組みや、利用者団体同士の情報交換・交流が生まれるような工夫をします。

- ロッカー、メールボックスの管理運営（国領、小島町）
限られた資源を有効に活用できるようサービスにつとめます。
- 倉庫スペースの貸出し（国領）
ロッカーに入りきらない荷物の保管場所として倉庫の空きスペースを貸出します。限りがあるので貸出団体参加の倉庫利用会議にて、公平にシェアしていただけるルールを作ります。
- 無線 LAN スポットの提供（国領・小島町）
市民活動支援、施設の利用価値の向上を目的として無線 LAN スポットを提供します。セキュリティ保持について必要に応じて、適時パスワードを変更します。
- 有線 LAN 接続パソコンの提供（国領）
5台のパソコンを有線で LAN 接続し、市民活動団体・個人に提供します。
- キッズコーナーの提供（国領）
子どもを同伴して利用される方のためにキッズコーナーを必要に応じて提供します。
- 展示スペースの提供（国領・野ヶ谷の郷）
活動成果の発表や活動紹介を行うことで、市民の活動への参加を促します。

番号	事業名	財源（一千円）上記1, 2に含む			
		自主	補助	委託	事業
4	市民活動情報の収集および提供	寄会歳基	福総	市協	○

目標と方針

- 必要な人に必要な情報が届くよう、また各団体や活動の広報支援の視点からも情報の収集や提供に工夫を重ねます。

実施内容等

- 情報紙「えんがわだより」の発行と各種メディアの活用
えんがわだよりを毎月発行するほか、調布市報、ふくしの窓（社協会報）、ケーブルテレビやコミュニティFM、タウン誌、インターネット上のポータルサイトなど多様なメディアを活用し、市民活動に関する情報提供を行っていきます。
また、えんがわだよりについては、タウン誌への折込、駅頭設置、ポスティング等紙媒体による配布のほか、ウェブ上にブログ形式で掲載します。運営委員会広報部会の協力を得て、より効率的な広報の工夫をします。
- 市民活動支援センターホームページの運営
より利用しやすくなるようにリニューアルを完成するとともに、市民活動情報のデータベースを充実し情報の共有化を図ります。さがす見つかるシステム（生涯学習・市民活動情報）と連動して、市民活動団体やイベントなどの情報収集・情報発信を行います。
また、それらのデータを基に、見やすさを工夫した市民活動団体リストを作成します。
（1,200部）
- 地域活動情報紙の編集・発行

調布市報の特別号として年に2回発行される地域活動情報誌の企画、編集に協力し、市民活動情報の提供を行います。(全戸配布)

- 被災地復興支援関係の資料スペースを充実
ボランティア活動、NPO 関連の資料の収集や閲覧を行うとともに、団体情報、イベント案内などの掲示スペースを設置し、活動や情報交換の場として充実させていきます。
また、被災者支援ボランティアセンターウェブサイトと連携し、東日本大震災の被災地復興支援・避難者支援関係の情報収集に努め、必要な避難者やボランティアに発信します。

番号	事業名	財源（ - 千円）上記 1, 2 に含む			
		自主	補助	委託	事業
5	市民活動団体（ボランティア・NPO など）、企業、行政との協働	寄会歳基	福総	市協	○

目標と方針

- 一人ひとりが地域と関わり、互いに支えあう関係づくりをすすめるため、さまざまな専門機関と連携し、市民や行政、地縁組織、NPO、企業など多様な立場の協働関係が構築できるよう環境整備をすすめていきます。

実施内容等

- チャリティーウォークの実施
企業、市民活動団体、行政による協働事業としてチャリティーウォークを実施します。
チャリティーウォークの参加費はえんがわファンドの原資として運用します。
協働事業の積み重ねによって企業との連携を模索し、災害時対応や地域課題に関して話し合う場に発展していけるよう工夫していきます。
- 地域コミュニティの推進
災害時対応も視野に入れた身近な地域での“顔の見える”関係づくり、支えあえる関係づくりをすすめるため、調布市が行う地区協議会の設置及び運営について協力していくなど、コミュニティの推進に取り組みます。また、災害や家族介護などのテーマ別にネットワーク会議を開催します。
- 企業のCSRに関する取り組み支援
よりよいまちづくり、地域のために企業が取り組むCSRについての情報提供とその支援および活動のコーディネートを行います。
- 非常時を想定した関係機関との連携強化と環境整備
調布市との「災害時におけるボランティア活動に関する協定」を基に、調布市総合防災訓練への参加や、地域防災組織（消防団、地区協・自治会防災担当、自主防災組織、総合防災安全課など）との平時からの交流をとおして、非常時の体制を想定します。
- 生涯学習情報コーナーや他自治体の市民活動支援センター等との連携
市内および他地域関係機関との連携を図りながら市民活動支援をすすめます。
- やあやあドリームオールスターズ「こどもあそび博覧会」の実施（共催）
市内 NPO との共催により、学校と地域の連携づくり、コミュニティ学習推進を目的とした地域交流事業を実施します。昨年度荒天の影響で中止になった石原小学校で、再度行います。

- 市民プラザあくろす内の連携
男女共同参画推進センター、産業振興センターおよび指定管理者東急コミュニティーとの定期的な会議に参加し、連携を図ります。
- センター周辺地域との連携
コクティー内の商業施設と連携し、施設の利用率向上、コミュニティーの構築、地域の活性化に取り組みます。
- 復興支援活動の連携
東日本大震災復興支援に関し、市内外のNPO、市民活動団体、企業などと協力関係を築きながら、協働して継続的な支援活動を行います。(重点項目)

番号	事業名	財源（ - 千円）上記1, 2に含む			
		自主	補助	委託	事業
6	人材育成、コミュニティー学習の支援	寄会歳基	福総	市協	○

目標と方針

- 一人ひとりが他者への思いやりや地域への関心をもつことを目標に、対象者の年代やライフスタイルなどを考慮した講座や研修プログラムを開発し提供していきます。

実施内容等

- 出前講座の実施（学校や企業等で実施する講座・研修会への協力）
学校や企業、地域などで行われる総合的な学習の時間、市民活動講座や研修会等へボランティアスタッフや障がい当事者、コーディネーターが出向き講座を実施します。
- サマーボランティアプログラムの実施
おもに中高大学生、社会人を対象に夏休み期間を利用したボランティア活動体験プログラムを実施し、活動へのきっかけづくりや理解・学習としての機会を提供します。
体験者の交流会を行い、次年度参加者へのアドバイスを伝える取り組みや、学校の体験授業への協力も続けます。
- 各種講座の実施
運営委員会広報部会や災害部会の協力のもと、広く市民活動に関する入門講座や、防災教育など専門的なテーマに基づく講座を実施し、互いに支えあう地域づくりをすすめます。

番号	事業名	財源（ - 千円）上記1, 2に含む			
		自主	補助	委託	事業
7	調査・研究・提言活動	寄会歳基	福総	市協	○

目標と方針

- 市民活動の推進、協働の促進にむけて調査・研究・提言活動を行います。

実施内容等

- 市民活動に関する調査研究を行い、提案や提言につなげていきます。

番号	事業名	財源（－千円）上記1, 2に含む			
		自主	補助	委託	事業
8	その他	寄会歳基	福総	市協	○

目標と方針

- 常に成長を続けるセンターであるように、さまざまな関係先との連携や情報交換などを通じて、研鑽につとめます。また広く社会に資するため互いのノウハウや情報の共有、事業協力なども積極的に受け入れます。

実施内容等

- 他団体会議・講座等への講師、委員、パネラー等職員派遣をします。
- 職員研修に参加し、スタッフのスキルアップを行います。
- 視察受け入れ
センター運営や事業実施等について、視察・見学の受け入れを随時行います。
- 北多摩南部ブロックボランティア・市民活動センターとの連携をします。